

- 3) 強度試験に関しては供試体を京都大学土木教室で試験していただいた結果は表-2の通りである。

7日 : 158 kg/cm²
28日 : 223 kg/cm² (w/c=62%の場合)

表-2

番号	寸法	強度		
		直径 (cm)	高さ (cm)	
NO.1	A	15.0	28.0	119
	B	15.1	30.0	129
NO.2	A	15.0	27.5	120
	B	15.0	25.4	121
NO.3	A	15.1	30.0	159
	B	15.1	30.5	167

(写真は図2の2種の異なる供試体の強度を比較したものである)

筆者は空気中施工の場合との28日強度の比較をとることを目的としたのであるが、ボーリングの設備が所定の時期に間に合わなかったこと、供試体の京都への運搬が遅れた為に材令197日になったことを残念に思うものであるが、何等かの参考になれば幸である。作業中のぬき取り供試体の圧縮強度試験の結果は次の通りである。

4. 結論

作業前にはトレミー工法の能率については運搬されて来たコンクリートをトレミーにて停滞さすことなく、処理出来るか否かを懸念したが現在では、ワインチマンの訓練と所要の注意さえすれば、圧倒的な利点を確信している。作業人員はトレミーの所にワインチマン2人とトレミーマン2~3人で普通のコンクリート打とあまり変わらない。唯厳重な施工をしてもある程度の強度低下はまぬがれ難いと思われる。従つて水中工法の採用については慎重を要する。

尙本工事は四国鉄道工業株式会社施工であり、コアは岡山鉄道管理局杉本職員と高松工事区高原職員に採択していただいたことを附記して謝意を表したい。

米国開拓局訓練規程について

編 集 部

米国政府の技術援助計画の一環として、Bureau of Reclamation は外国の有資格者に灌漑、水力電気、洪水制御、排水及び開拓計画の運営、維持等諸般の開拓活動部門において就役訓練を受け、又は公式視察をする機会を提供している。

これに関する規程の本文及び訳文が中国電力株式会社から本学会に送られて来ている。関係機関には夫々本文は送達されていることと思うが、念の為簡単に紹介する。詳しくは関係機関又は本学会へ照会されたい。

1. 就役訓練の専門部門 上記諸分野にわたり細別記載されている(略)
2. 受訓練資格 受訓練者が訓練を受けることにより、その出身国における上記各分野の向上発達

に直接貢献できると思われる青年の中から詮衡する。

尙当局の活動をより広範囲に而もより専門的に検討し得る年長の経験の深い他政府機関の技術者及び職員は公式視察者として視察の便宜が与えられている。

3. 訓練場所 大部分 Colorado 州 Denver 市の設計建設支局。
4. 出願手続 最寄の米国大使館その他の外交機関又は米国経済協力使節団に申出ること。
5. 費用 4原則、科学文化協力、経済協力又は他の計画が行われている出願者の自国政府との協定に基いて支払われる。